

平成24年度 事業計画

I 基本方針

平成24年度は、『札幌勤労者職業福祉センター事業計画』で定めた4つの重点方針（安心して働ける環境づくりの支援、地域に根ざした賑わいのある空間の創出、公益性の強化と健全経営の両立、環境にやさしい施設運営への転換）に基づき、札幌勤労者職業福祉センター（札幌サンプラザ）の安定した施設運営を行うほか、更なる健全経営を行い、全部門の収益性強化に取り組むことといたします。

II 札幌サンプラザが実施する各事業

1 勤労者福祉事業

(1) 労働・雇用関連事業

- 札幌市、労働局が主催、開催する労働・就業関連事業に引き続き協力します。
- 札幌市教育委員会、札幌商工会議所紹介のインターンシップ、並びに近隣小中学校、高等学校のインターンシップを受け入れ若年者の就労支援事業を引き続き行います。

(2) 地域活性化事業

- 地域活動支援事業
地元開催の夏祭り等イベントへの会場の提供、「24広場」の活用などに協力し、地域の活性化を支援します。
- 街づくり事業などの地域活性化支援
『食と花で街づくり』をテーマに街づくり活動をしているスローライフ事業の共催、協力等により地域の事業を支援します。

(3) 地域文化、健康増進事業

- 文化振興事業
地域文化の振興として、市内で活動するサークルの発表会の共催、地元のアーティストによる展覧会の開催などを推進します。
- 音楽ホール、文化教室で実施する事業を通じ、地域文化の向上に寄与します。
- 音楽ホールを使用した、社会福祉団体が開催するチャリティコンサートを共催します。
- 生涯学習の機会拡大を目的に平成19年度から始めた『ものしり講座』を充実させ、教養・文化の向上を図ります。

- ・ 健康メニューの提供

レストランで、T F T (Table For Two) プログラム参加メニューとして北保健センター協力を得、健康に配慮したメニュー『ヘルシーお膳』(約720Kcal)を引き続き提供します。

※ Table For Two とは、1食につき、20円を寄付することで開発途上国の子供達に学校給食1食が提供される仕組み。

2 札幌サンプラザ運営事業

(1) プール

短期スクール、新規入会キャンペーンなど、利用拡大を図るため積極的に実施します。また、宿泊者へ利用券を配付するなど、館利用者の利用拡大を図ります。

(90,000人の利用を見込みます。)

(2) ホール

地域文化の向上を目標に、オペラ公演の継続開催、小規模音楽系サークルの発表会の誘致を推進すると共に、社会福祉団体が開催するチャリティー公演を共催します。また、稼働率アップを図るため、練習プランを積極的に販売し、利用の拡大を図ります。(220件、74,000人の利用を見込みます。)

(3) 文化教室

教室稼働については、100を超える教室数となっており、ほぼ飽和状態であると言えますが、稼働率の低い会場の活用(4階和室)により、教室利用の機会拡大を図り、利用増に努めます。

また、カルチャー祭(文化系教室)並びに発表会(舞踊、バレエ等)を継続して開催し、広く周知を図ることにより利用増に繋がります。

(102教室、21,600人の利用を見込みます。)

(4) 広場

福祉団体の展示会、地元アーティストによる展覧会、市内小・中学生の絵画展、高等学校の校外展として会場を引き続き提供するとともに、夏には地元開催の夏祭り『ノースロード24フェスタ』、年末には地元商店街のイベント、年始には札幌サンプラザ自主企画(オリジナルカレンダープレゼントなど)のイベントなどを開催します。

また、札幌市との共催事業である『合同企業説明会』の会場としても引き続き提供することとしたい。(60件、32,000人の利用を見込みます。)

(5) 会議・研修

町内会等を対象とした施設見学会の販売促進、町内会の会合、各企業・団体で開催される会議などへのケータリングの受注増を図ります。

また、札幌サンプラザの位置する北地区には北海道大学、北海道医療大学、北海道教育大学等の教育機関があるため、学会受注を目標に、事務局へのDMの発送、並びに電話によるフォローセールス、エージェントへのセールスを実施し、受注拡大を図ります。

(2,400件、100,100人の利用を見込みます。)

(6) 宿泊

スポーツ大会出場チームなどの団体利用、文化系コンクール参加学校、音楽ホールなど館内他部門との連携強化などを行い利用増に努めます。

インターネット予約が好調に推移しているところから引き続き継続し、利用増を図ります。

また、ファミリーハウス（入院患者の付き添い者向けの宿泊場所を安価で提供する施設）の提供を行います。

(客室稼働率57.9%、17,000人の利用を見込みます。)

(7) レストラン

利用が減少傾向にある厳しい状況の中、ポイントカード（仮称）の発行等によりリピーターの囲い込みを図るほか、新規顧客獲得を目指し、例年実施しております『ピアノコンサート』、『ワインセミナー』、フェア等の年間行事予定を掲示し、周知を図り利用増を目指します。

また、北保健センターの協力を得て提供している『ヘルシーランチ』、TFプログラム参加メニューである『ヘルシーお膳』の充実を図り、引き続き健康に配慮したメニューを提供します。

(110,600人の利用を見込みます。)

(8) 宴会

- ・ 震災等の影響もあり、利用が伸びていない状況にありますが、音楽ホール公演後の打ち上げ、会議利用後の会食等、複合施設である利点を活かした受注拡大を強化すると共に、町内会などで好評を得ている出張サービスの充実を図り利用増に努めます。

併せて、文化団体へのセールス強化、各プランの充実、周知、並びに高齢者の方の昼間の利用拡大を図ります。

調理技能の向上、並びに地産地消に着目した企画である『晩餐会』を年間3回開催します。

ミキサーペースト食にも対応した『サポートプラン』を積極的に販売します。

- ・ 法要については、DMの発送、訪問によるセールス等を継続して実施すると共に開催の都度、安定した受注実績のある法要内覧会を年間6回開催し、利用増に努めます。
- ・ 婚礼については、リーズナブルなプランの販売強化を図るため、ゼクシー（婚礼広報誌）への掲載をするなど、PRの充実を行い利用の拡大に努めます。
(1,740件、69,100人の利用を見込みます。)

(9) その他事業

- ・ E S C O事業の充実

導入後、一定以上の効果を見ておりますE S C O事業ですが、運用面における協力等により、CO²、並びに水道光熱費の更なる削減に努力します。

- ・ エコキャップ運動への参加継続

平成20年9月から始めたエコキャップ運動（「ペットボトルのキャップを外して集め」再資源化することで「地球環境を改善し」またキャップの再資源化で得た売却益をもって「発展途上国の子どもたちにワクチンを贈る」）へ、札幌サンプラザ利用者の協力を得ながら引き続き参加をします。

- ・ 『フレンドシップグループ札幌』による施設運営の活性化

札幌市内の公的類似施設（さっぽろ芸術文化の館、ホテルノースシティ、ホテルポールスター札幌、ホテルライフオーソ札幌、札幌ガーデンパレス、KKRホテル札幌、札幌サンプラザ：計7施設）により、平成20年11月に発足しました『フレンドシップグループ札幌』の一員として各施設と情報交換などにより相互の運営を活性化します。

3 広報活動

(1) ホームページの積極的な活用

各種イベント、フェア等のタイムリーな情報提供の強化に取り組み、アクセス数の増加を目指します。